

わまっ2ジャーナル

2022 春号
盛岡市農政課協力隊発行

お久しぶりでございます！ 昨年は春号以降から発行ができていませんでしたが、今年はどうぞん活動していきたいと思っております。昨年の10月には大ヶ生に新隊員が加わり、更に賑やかになった私達の活動を紹介していきます！



産休中の高橋です。
3月に無事出産しました！



【新しく着任した山代 森です】

こんにちは。昨年から大ヶ生地域の地域おこし協力隊をしております。山代と申します。10月に大ヶ生に暮らし始め半年が経ちました。今号から普段どんな活動をしているのか、こちらで紹介させて頂けたらと思います。よろしくお願致します。

昨年の秋、映画「タイムグラバあちゃん」の

上映会を開催しました。この作品は僕が生まれ育った、宮古市(旧川井村)タイムグラ地区という開拓集落に暮らされたおじいさんおばあさんを映した記録映画です。大ヶ生地域でもかつて行われていた玉味噌づくり、昔から続く農耕風景に会場からも「懐かしい」という声が聞かれました。前職で写真の仕事をしていたこともあり、「これから僕も地域の風景を写真で記録していきたい」とそんな挨拶もさせて頂きました。



↑ハウス脇の雪かき作業

年が明けて今年2月、昨年に引き続き開催したのが、築川・大ヶ生合同雪灯りです。コロナの影響もあり、準備作業など昨年より規模を縮小したところもありましたが、地域の皆様のお力により、今年も雪景色が明るく照らされました。3会場を回ってみると、早くも来年の抱負が聴こえてきたり…今年も例年よりも雪の日が長く、生活する上では厄介者扱いされてしまう雪ですが、毎年積もってしまうのなら雪を楽まなければですね。

イベントは数回しか開催できていませんが、普段から大ヶ生地域に暮らし、活動している為大ヶ生山伏神楽への参加、りんご農家さんのお手伝い、お寺のお掃除や農業用ハウス・側溝の修繕工事など…いろんなところに顔を出しては地域の事を日々教えて頂いております。まだまだ、知らないことだらけですがどうぞ、これからもよろしくお願致します。(山代 森)

【活動の折り返し地点になりました】

鳥獣被害対策をテーマに活動している知念です。令和2年の9月から活動を開始し、令和4年の4月で活動期間の折り返し地点を迎えました。今後はこれまでの期間で見聞きしたことを還元していきけるような活動に移っていきたくと思っています。その一環として、大ヶ生地域の一部の農家さん達と「集落ぐるみでの鳥獣被害対策」の体制づくりに向け、昨年12月に鳥獣被害対策の勉強会を開催しました。参加した方々に向けて後日アンケートを配布させて頂いたのですが、そこに書かれていた皆さんの想いにとっても胸を熱くさせられました。2回目の勉強



↑月の輪酒造一万寿坑への日本酒蔵入れ作業



↑大ヶ生・築川合同雪あかり (上大ヶ生会場)



↑罾で初捕獲したシカ。(上大ケ生)

強会はコロナの影響でまだ開催できていませんが、世の中の流れを見ながら今後も定期的に開催していきたいと思っています。

また、今後の活動では鳥獣被害対策だけでなく、現代の農村が抱える問題の根本的な原因は、農村に関わる人たちが昔に比べ少なくなったことから引き起こされているのではないかと、という自分なりの仮説をもとに、街中に住む多くの方々にも農村での暮らしに興味を持ってもらいたいと、協力隊の仲間たちと暮らしや文化、自然環境のことなどを発信していこうと色々計画しています。

令和3年度の狩猟期間には自身で仕掛けた罾で初めてシカを捕獲することができました。まだまだハンターとしてはスタートラインだと自覚していますが、しかしこれでやっとハンターと名乗ることができる！と嬉しく思っています。このように、鳥獣被害対策、農村の魅力を人に伝えること、ハンターとして自身も自然や地域にたくさん関わること、の3つを指針として今後は活動していきたいと思っています。

(知念 侑希)

昨年の夏に大ケ生で収穫したブルーベリーは、一昨年に引き続きジャムを作り3店舗で販売しました。また、昨年私が企画した大ケ生・築川合同での雪灯りは、今年は山代くんが引き継いでくれて開催しました。今後の活動については、回覧板やこちらかまどのSNSなどで随

今年度は、協力隊時代に行っていた活動(大ケ生にある南部曲り家「こあらかまど」を拠点としたイベント開催や、大ケ生産ブルーベリーの活用など)の継続と、集落支援員としての新たな活動と、バランスを取りながら進めていきたいと考えています。大ケ生の現役の協力隊である山代くん、OGの池内さん、これからはそれぞれの立場で、時には協力しながら活動していきたいです。

今年度は、協力隊時代に行っていた活動(大ケ生にある南部曲り家「こあらかまど」を拠点としたイベント開催や、大ケ生産ブルーベリーの活用など)の継続と、集落支援員としての新たな活動と、バランスを取りながら進めていきたいと考えています。大ケ生の現役の協力隊である山代くん、OGの池内さん、これからはそれぞれの立場で、時には協力しながら活動していきたいです。

【集落支援員に就任しました】



↑頂いたクマで作った赤ワイン煮



↑大ケ生での勉強会の様子

昨年の8月に地域おこし協力隊を卒業した富岡美恵です。先日4/1付けで、盛岡市の集落支援員に就任しました。地域おこし協力隊の3年間で培った経験を踏まえ、再び大ケ生で活動させていただきます。よろしくお願いたします。集落支援員に就任したのは盛岡市では私が1人目ですが、他の自治体では地域おこし協力隊のOBやOGが集落支援員として活動しているケースは多くあるようです。

【今とこれから】
協力隊を卒業して2年が過ぎました。今は矢巾駅前にある矢巾町活動交流センターやはばく



↑今年もブルーベリージャムを作りました。



時お知らせさせていただきまます。近日中の予定としては、5/1~5/8にこあらかまどの曲り家で絵画の展示イベントを予定しています。会期中に様々な催し(1日限定出張カフェやお茶席など)もありますので、ぜひ足をお運びください。5/1からの絵画展のように、「こあらかまどの場所を借りてイベントをしたい」という方々からの依頼も積極的に受け入れたいです。昨年12月には花巻のお店の依頼で編み物のワークショップ会場としても使われました。写真はそのときの様子です。←(富岡 美恵)



↑お出かけバスのマスコット。



↑漆の苗木。

で事務の仕事をしています。大ケ生では週に一回のお出かけ支援の送迎や、漆の植栽なども継続して行っています。漆も植え始めて3年目。鹿の被害などもあり順調とは言いがたいですが、地域の産業を作り大ケ生を「金と漆の里」にすることを理想にこれからも進めていきたいと思っております。今年も約300本を植栽する予定です。「うちの使っていない土地に植えてもいいよ」という方がいましたらご一報ください。大ケ生には協力隊の拠点とする古民家「こあらかまど」があり、ことあるごとに集まり話をしたり、新しい試みを実践してみたりしています。ここに来れば何かに挑戦できる、やりたいことにつながる、会いたい人に会える...など何かと繋がれる軸のような場になりたいと日々考えています。里山である大ケ生と他の中山間地域、岩手県、日本、世界中と繋がりを持ったらどんな面白いことが待っているだろうといつもワクワクしています。実現に向けて試行錯誤中ですが、進めていくので是非仲間になってください。ただ、いつもせかせかせ仕事のことばかり考えると体に悪いので、時間ができると大ケ生の母(住み込みでお世話になった女性)に会いに行き、実家のように気を抜いて過ごしております。相変わらずの池内絵美ですが、今年度もよろしくお願いたします。(池内 絵美)